

さまざまな形態のものがそろい踏み!
いま注目のレンタルボートシステム

第23巻6号 通巻268号 2021年6月1日発行(毎月1日発行)

ボート倶楽部

BOAT CLUB

JUNE 2021

6

〔特集〕 美しき“海の貴婦人”の魅力に迫る

シロギス大研究



〔Boat Fishing〕

浜名湖を晴山由梨が大満喫♡

トレーラブルボートで中深場!

小野信昭が乗っ込みマダイをねらう

〔Boat〕

ボストンホエラー230アウトレージ

グリーンライン39

〔Others〕

霧の発生を予想する

ツナギ女子!

ボートライフを支えてくれる
マドンナ整備士を紹介。

男子だけじゃないヨ!

【文・写真】井之上晴菜(本誌)

【協力】リビエラシーボニアマリーナ

リビエラシーボニアマリーナ

藤田菜々子さん

ふじた・ななこ

ニコニコ笑顔がかわいらしい、藤田菜々子さん。「海が好きすぎる」という理由で、約3年前にリビエラシーボニアマリーナに入社した。

「それまでは違う職種だったんですけど、ずっと海に関わる仕事がしたいと思っていました。もともとサーフィンをしていたのと、海岸に行って海を眺めるのが好きで、それを友人に話していたら、そこからご縁があってシーボニアマリーナのスタッフと会う機会があったんです。そのときに「働きたいです」って伝えましたね(笑)」

その後受けた面接の際に、「現場に出て仕事したい」と伝えたこともあり、メンテナンス補助やポート免許の講師、「ジュニアヨットクラブ」などマリーナ独自のプログラムを担当するなど仕事の幅は広い。

「メンテナンスについては、まだまだ勉強中です。でも最近先輩が言っている意味がわかってきて、少しずつ成長できているかなって。それがうれしいですね」

どんな仕事でも楽しいと話す藤田さんの最近の目標は、「スーパーサブ」になること。

「まずは周りのスタッフに対して、最高の手助けができる人になりたいです。もちろん、知識も技術もすごい先輩方のようなスタッフになりたいんですけど、まずは「藤田と一緒に仕事がはかどる」と思われたい。それが、結果的にオーナーさんへもつながらかなと。第一目標ですね」

では、オーナーさんへのアドバイスをお願いします。

「少しでも気になることがあったら、すぐにマリーナスタッフに相談してください。トラブルを未然に防げることもあるかもしれませんが、やはり安全に楽しんでほしいですからね」

好きな食べ物は、魚。最近は研修としてボート釣りに行き、ボートコントロールや釣り方を勉強している。これまで魚を触ることも苦手だったが、自分で釣るようになってからは、さばいているんだとか。なんでも挑戦する藤田さんの活躍に注目したい!



「自分の工具ボックスがないので、持つ工具がないですね……」と言いながらも、よく使う工具(スタッフ共用)を持ってきてくれた。マイナスドライバーは、最近任せられるようになったオイル交換の際に使用するという。モンキーレンチは、メンテナンス補助の際に必ず持つていくのだとか



取材日は、返却されたレンタルボートを洗っているところだった。「これは、最初に覚えた仕事内容だったかな～」と藤田さん



洗剤後、ディンギー倉庫に移動し、「ジュニアヨットクラブ」で使用するディンギーのメンテナンス。なんでもこなす藤田さん、キラキラしてます!!